

第3学年 防災教育カリキュラム

月	防災教育関連 行事等	教科	指導内容	道徳	総合的な学 習の時間	特別活動
4	年間指導計 画・避難経路 図・防災マニ ュアル見直し 校区・通学路 の安全確認 避難訓練（地 震・火災） 安全点検	美術（1時間） 社会に広がる美術	美術の力で何かを表すことによって、 社会に対する問題提起になったり、それ を解決するヒントを伝えたりできること に気づかせる。本文キーワード：地球環 境・限りある資源・かけがえのない命	「郷愁」（心 つないで） 郷土愛 4 - (8)		行事（1時間） 歓迎遠足を通し て、炊さん活動で炊 き出し訓練の練習 を行う。また、現地 に向かう経路の中 で、遊泳禁止場所や 危険箇所を確認さ せる。 地区生徒会（1時間） 避難場所や危険箇 所の確認、通学路マッ プ・地区連絡網の作成
5	安全点検	美術（家での宿題） 社会を明るくする運動 課題ポスター 社会【歴史】（1時間） 第7章 二度の世界大 戦と日本 2 大正デモクラシー	鷹島町で行われ募集される「社会を明 るくする運動ポスター」の制作において、 防犯・防災・郷土・人権などのテーマで 取り組ませる。興味のある分野から課題 を選ぶことで、意欲的に取り組ませる。 関東大震災の資料とともに、東日本大 震災の資料を準備し、災害が発生した際 に起こり得る社会問題について推察させ る。			
6	安全点検 生徒防災意識 調査	社会【歴史】（1時間） 第8章 現代の日本と 世界 3 冷戦の終結とこれ からの日本	これからを生きる不安定な時代をいか に協力し、どのような支え合いができる のかを考察させ、各自の意見をまとめさ せる。		地震・津波・ 原子力災害 を知る （詳細は、別 紙）	学活(1時間) (2) -キ 防災意識調査をし、 津波の映像を見せ、 避難することの大切 さを理解させる。
7	学校防災教育 研修会 心肺蘇生法・ AED講習 地区PTCA （危険箇所確 認・遊泳場所 確認他） 避難訓練（津 波・地震） 安全点検			「命を輝か せるため に」（ではま た明日） 生命尊重 3 - (1)		
8	安全点検	美術（家での宿題） 夏休み選択課題 ポスター	自分で防災ポスターの種類を選択し （土砂災害防止など）制作に取り組むこ とで、調べ学習において防災の知識や状 況を把握させるなど、興味関心を持たせ る。			

9	安全点検 避難訓練（原 子力災害）	社会【公民】（1時間） 第1章 わたしたち の暮らしと現代社会 3 わたしたちがつく る社会	「ルールをつくること」の学習で、ル ールのもつ意味を理解させ、「自分のた め」「他者のため」などのいくつかの視点 をもたせ、ルール作りを体験させる。			
		英語（1時間） ネットからの引用	東日本大震災が起こったときの、英語 でのニュースを日本語に訳したり、聞き 取りをしたりすることで、外国ではこの ニュースがどのように報道されていたの かを知らせる。			
10	安全点検	社会【公民】（1時間） 第2章 人間を尊重す る日本国憲法 2 憲法が保障する 基本的人権	人権の種類について学習し、その人権 のもつ意味を理解するなかで社会を見 る目を育てる。 「法の下での平等」という視点から、現 状の日本の課題や解決策を探る。	「愛は命を 支える柱 になる」 生命尊重 3 - (1)		
11	安全点検 避難訓練（地 震・津波） 防災ボランテ ィア報告会	社会【公民】（2時間） 第3章 わたしたち の暮らしと民主政治 1 民主主義と日本 の政治 3 地方自治と住民 の参加	災害時の政治のはたらきとして、被災 者支援なども含まれることを知り、過去 の震災の被害や復興までの道のりを調 べ、まとめさせる。 鷹島（松浦）の防災まちづくり活動を 調べ、自分たちができる防災への取組を 考え、まとめさせる。 防災行政無線やメディアの果たすべ き役割を知り、いかに正しい情報入手 する必要があるかについて考えさせ、 課題を出し合わせる。	防災訓練（2 時間） （炊き出 し・応急措 置・土嚢作り など）別紙計 画表参考	防災訓練（2 時間） （炊き出 し・応急措 置・土嚢作り など）別紙計 画表参考	学活（1時間） （2）- キ 世界の自然災害 学活（1時間） （2）- カ ボランティア活動 について、世界に目を 向けよう。
		数学（1時間） 第5章 相似な図形	津波の映像から、津波の高さを測定さ せる。			
12	安全点検					地区生徒会（1時間） 危険箇所確認・地区 の安全マップ作成・地 区連絡網・遊泳禁止区 域・避難場所を確認さ せる。

1	安全点検 生徒防災意識 調査	美術(1時間) 生きるためのデザイン 転がる水	写真のポリタンクとQドラムを見比べ、生きるために必要なデザインの在り方を感じさせる。 美術で学ぶ力によって、同じ地球で生きる人々の為にどんなことができるかを考えさせる。 (災害後の不便な状態にある各地域での生活に思いをはせ、そんな中でも、より便利で快適な生活がおくれる工夫を考える)			学活(防災意識調査) (2)-キ
		社会【公民】(3時間) 第4章 安心して暮らせる社会 1 労働と社会保障 2 これからの日本 経済の課題 第5章 国際社会に生きるわたしたち 1 国際社会が抱える課題	労働や社会保障、協働の現状を知るなかで、「いろいろな人々が支え合って成り立つ社会にしていくにはどういうことが大切で何が必要か」などの課題を話し合う。 意見を出し合うなかで、他者の意見を認め、自分の意見と組み合わせるなど、より良い意見を考えさせる。 鷹島(松浦)で行われている「協働」の取組を調べさせる。			
2	避難訓練 (火災) 安全点検	社会【公民】(1時間) 第5章 国際社会に生きるわたしたち 3 持続可能な社会の実現へ向けて	地域や国内、世界に向けて支援や貢献できることはないかを考え、発表させる。 持続可能な未来を築くという視点から話し合わせる。	「家族愛」 (とっておきの道徳授業) 家族愛 4-(6)		
		理科(1時間) 単元6 1章 自然の災害とめぐみ	自然がもたらす災害について幅広く、そのしくみや影響を学習し、適切な対応ができるようになる。			
		体育《1時間》 健康な生活と病気予防 17 個人の健康を守る社会の取組	個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかかわりがあることを理解させる。			
3	安全点検					